

編集規定（新旧対照表）

変更箇所	変更内容	旧	新
III	追加	-	特集論文：学会大会や地域部会での企画セッションまたはテーマセッションにおける報告をまとめたもの。
	修正	学界展望・消息：人口学に関連する他学会等の動向や、海外における人口学研究の動向を紹介することを目的としたもの。	学界展望：人口学に関連する他学会等の動向や、海外における人口学研究の動向を紹介することを目的としたもの。
	修正	新刊短評：国内において出版された人口学に関連する図書の紹介とその簡単な評価を試みたもの。	新刊短評：人口学関連図書の紹介とその簡単な評価を試みたもの。
V	修正	本誌に掲載する論文等の内容は、すべて未発表のものでなければならない。ただし、学会等で口頭やポスター等により発表されたものは、未発表のもののみとする。	本誌に掲載する論文等の内容は、すべて未発表のものでなければならない。ただし、学会等での口頭やポスター報告、査読を経ないワーキングペーパー、報告書等により発表されたものは、未発表のもののみとする。
VI	修正	寄稿された論文等を本誌に掲載するか否かの判定は、編集委員会がおこなう。とくに、IIIの論文と研究ノートの掲載の適否は、編集委員長が委嘱する審査員の意見に基づいて、編集委員会が決定する。	寄稿あるいは投稿された論文等を本誌に掲載するか否かの判定は、編集委員会がおこなう。とくに、IIIの論文・研究ノート・解説の掲載の適否は、編集委員長が委嘱する審査員の意見に基づいて、編集委員会が決定する。
XI	修正	本誌に関する一切の権利は、日本人口学会に属する。	本誌の著作物に関する著作権は、すべて日本人口学会に帰属する。ただし、著作者人格権は著者に帰属する。

投稿規定（新旧対照表）

変更箇所	変更内容	旧	新
II	修正	本学会会員は「編集規定」のIIIに定める原稿を、随時、編集委員会あて投稿することができる。	本学会会員は「編集規定」のIIIに定める原稿を、随時、編集委員会あてに投稿することができる。
III	文の追加	-	論文等の作成にあたっては、オリジナリティを確保するとともに、剽窃等他者の著作権を侵害してはならない。また、投稿原稿には捏造・改ざんされた情報が含まれてはならない。
IV	修正	「編集規定」のIIIに定める論文等は、原則としてワープロにより原稿作成するものとし、原稿の大きさは、すべてA4判とする。	「編集規定」のIIIに定める論文等は、Word等の編集可能な電子版の原稿を提出するものとし、原稿の大きさは、すべてA4判とする。
IV (1)	修正・追加	和文の場合には、原稿字数の限度は、論文等の種類により、以下のとおりとする。	和文の場合、原稿字数の限度は、論文等の種類により、以下のとおりとする。 なお、刷上りは1ページ当たり2,000字を想定している。
	修正・追加	論文：40,000字（見出し、和文摘要および英文要旨を含み、刷上り20ページ）以内 研究ノート：22,000字（見出し、和文摘要および英文要旨を含み、刷上り11ページ）以内 学界展望・消息：12,000字（見出しを含み、刷上り6ページ）以内 解説：10,000字（見出しを含み、刷上り5ページ）以内 書評：6,000字（見出しを含み、刷上り3ページ）以内 新刊短評：2,000字（見出しを含み、刷上り1ページ）以内	論文：40,000字（見出し、和文要旨および英文要旨を含み、刷上り20ページ）以内 研究ノート：22,000字（見出し、和文要旨および英文要旨を含み、刷上り11ページ）以内 特集論文：22,000字（見出し、和文要旨および英文要旨を含み、刷上り11ページ）以内 解説：12,000字（見出し、和文要旨および英文要旨を含み、刷上り6ページ）以内 学界展望：12,000字（見出しを含み、刷上り6ページ）以内 書評：6,000字（見出しを含み、刷上り3ページ）以内 新刊短評：2,000字（見出しを含み、刷上り1ページ）以内
IV (2)	修正	英文の場合には、原稿（A4判）1枚につき1行8語程度、30行、計240語程度を記載するものとし、原稿枚数の限度は、論文等の種類により、以下のとおりとする。	英文の場合、原稿枚数の限度は、論文等の種類により、以下のとおりとする。なお、刷上りは1ページ当たり700語を想定している。
	修正・追加	論文：60枚（見出し、英文摘要および和文要旨を含み、刷上り20ページ）以内 研究ノート：33枚（見出し、英文摘要および和文要旨を含み、刷上り11ページ）以内	論文：14,000語（見出し、英文要旨および和文要旨を含み、刷上り20ページ）以内 研究ノート：7,700語（見出し、英文要旨および和文要旨を含み、刷上り11ページ）以内 特集論文：7,700語（見出し、英文要旨および和文要旨を含み、刷上り11ページ）以内
IV (3)	修正	図及び表については、和文、英文ともに、刷上りの場合の大きさを想定し、それらを合計したものについて、1ページあたり日本語2,000字として、上記の字数限度に含める。	図及び表については、和文、英文ともに、刷上りの場合の大きさを想定し、それらを合計したものについて、1ページあたり日本語2,000字、または英語700語として、上記の字数限度に含める。
V	修正	和文の原稿においては、英文題名およびローマ字表記氏名を、英文の原稿においては和文題名および氏名、所属をかならず併記する。	和文の原稿においては、英文の題名および氏名（ローマ字表記）、所属を、英文の原稿においては、和文の題名および氏名、所属をかならず併記する。

変更箇所	変更内容	旧	新
VI	修正・追加	論文、及び「研究ノート」については、和文の場合には、和文摘要（A4判1枚、刷上り1/3ページ以内）のほかに、英文要旨（見出しを含み、A4判3枚、刷上り1ページ以内）を、また、英文の場合には、英文摘要（A4判1枚、刷上り1/3ページ以内）のほかに、和文要旨（見出しを含み、A4判3枚、刷上り1ページ以内）を添えるものとする。	論文・研究ノート・特集論文・解説については、和文の場合には、和文要旨（800字以内）のほかに、英文要旨（400語以内程度、タイトル、著者名等を含み刷上り1ページ）を、また、英文の場合には、英文要旨（300語以内）のほかに、和文要旨（1,200字以内程度、タイトル、著者名等を含み刷上り1ページ）を添えるものとする。なお本文を含め、英文については提出前にnative speakerのチェックを済ませておく。
VIII	修正	論文、研究ノートについては、原稿の末尾に、原稿の内容を表わすキイ・ワードを5語以内で記載すること。	論文・研究ノート・特集論文・解説については、和文・英文の要旨の末尾に、原稿の内容を表わすキーワードを5語以内で記載すること。
IX	修正	論文等の原稿の提出に当たっては、執筆者は事故防止のため、かならず控えの写しをとった上で、正本1部を編集委員会あて送付するものとする。論文および研究ノートの場合は、別に定める原稿明細書を編集委員会に送付するものとする。編集委員会の指示に基づいて修正し、再提出する場合も同様とする。なお、送付された原稿は、原則として返却しない。	論文等の原稿の提出は、論文・研究ノート・特集論文・解説の場合は、「『人口学研究』原稿明細書」を付して、電子メールにより編集委員会（ <a href="mailto:ips-editor@paoi.org">ips-editor@paoi.org</a> ）に送付すること。
X	修正	校正段階での加筆は、原則として認めない。執筆者が抜き刷りを希望する場合、初校返却の際に申し込むこと（「論文」、「研究ノート」の執筆者は100部まで無料とする）。	校正段階での加筆は、原則として認めない。執筆者が抜き刷りを希望する場合、初校返却の際に申し込むこと（論文・研究ノート・特集論文・解説の執筆者は100部まで無料とする）。
XI	修正	論文、研究ノートについては、編集委員会から原稿が最終的に受理された旨の通知を受けた執筆者は、ただちに、ワープロによる最終原稿を電子メールの添付書類として編集委員会に送付するものとする。	論文・研究ノート・特集論文・解説については、編集委員会から原稿が最終的に受理された後、J-STAGEに早期公開することができる。早期公開を希望する場合は編集委員会に連絡すること。

原稿執筆要領（新旧対照表）

変更箇所	変更内容	旧	新
1	修正	原稿は、横書きとし、A4判を使用し、 <u>ワープロ</u> により作成する。	原稿は、横書きとし、A4判を使用し、 <u>文書作成ソフト</u> により作成する。
4	修正・統合	<p>図や表は、<u>本文には含めず、別の用紙にプリントアウトし、一括してまとめて、本文の後に置き本文中には、図表番号を赤字で右側欄外に注記して挿入箇所を明示する。</u></p> <p>4.1 図や表には、それぞれの通し番号を付して表題を付ける。また、必ず「単位」と「出所」または「資料」を明記する。なお、「出所」とは、原数値をそのまま用いる場合であり、「資料」は、原数値を加工した場合をいう。図表を他の著作物から引用する場合には、出所を図表の下に明示し、必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得ておくこと。</p> <p>4.2 統計表において、該当項目のない場合や数値不明の場合は…、数値が皆無である場合は－で表示する。</p>	<p>図や表は、本文の該当箇所に挿入するか、別ファイルにまとめて提出する。別ファイル提出の場合は、本文中に挿入箇所を明示する。</p> <p>図や表には、それぞれの通し番号を付して表題を付ける。必ず「単位」と「出所」または「資料」を明記する。なお、「出所」とは、原数値をそのまま用いる場合であり、「資料」は、原数値を加工した場合をいう。図表を他の著作物から引用する場合には、出所を図表の下に明示し、必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得ておくこと。</p> <p>統計表において、該当項目のない場合や数値不明の場合は…、数値が皆無である場合は－で表示する。</p>
6.3	修正	「引用文献」の記載は、 <u>日本語文献と外国語文献とに分け、この順に、日本語文献は、50音順、外国語文献は、アルファベット順の姓名配列とする。</u> 同一著者については、発表年月順とする。	「引用文献」の記載は、 <u>和文の場合は、日本語文献と外国語文献とに分け、この順に、日本語文献は著者の50音順、外国語文献は著者のアルファベット順に記載する。</u> 英文の場合は、日本語文献と外国語文献に分けず、著者のアルファベット順に記載する。同一著者については、発表年月順とする。
6.4	修正	本文および図表等における文献の引用方法は、原則として、著者の姓と発表年次を記載し、2度目以後の引用も同様とする。 本文の場合：（例） <u>舘（1963）、Samuelson（1964）</u> 文末の場合：（例） <u>（舘 1963）、（南 1960、舘 1963）</u>	本文および図表等における文献の引用方法は、原則として、著者の姓と発表年次を記載し、2度目以後の引用も同様とする。 文章に組み入れる場合：（例） <u>舘（1963）は、Samuelson（1964）が、</u> <u>（）で引用する場合：（例）（舘 1963）、（南 1960、舘 1963）</u>

変更箇所	変更内容	旧	新
7.1	修正	<p>7.1 和文文献</p> <p>7.1.1 単行本：著者名，（共著者名），出版年，『書名』，（シリーズ名），出版社。</p> <p>（例） 館 稔，1963，『人口分析の方法』（形成選書），古今書院。</p> <p>7.1.2 論文等</p> <p>(1) 単行本収載論文：執筆者名，（共同執筆者名），出版年，「論文名」，編集者名，『書名』，出版社，ページ。</p> <p>（例） 寺尾琢磨，1996，「マルサスとマルクス」，南亮三郎・館稔編，『マルサスと現代』，勁草書房，158-200ページ。</p> <p>(2) 雑誌収載論文等：執筆者名，共同執筆者名，出版年，「論文名」，『雑誌名』，巻号，刊行月，ページ。</p> <p>（例） 中川友長，1940a，「将来人口の計算」，『人口問題研究』第1巻第2号，5月，13-15ページ。</p>	<p>7.1 和文論文等</p> <p>7.1.1 単行本：著者名，出版年，『書名』，（シリーズ名），出版社。</p> <p>（例） 館稔，1963，『人口分析の方法』（形成選書），古今書院。</p> <p>7.1.2 単行本収載論文：執筆者名，出版年，「論文名」，編集者名，『書名』，出版社，ページ。</p> <p>（例） 寺尾琢磨，1996，「マルサスとマルクス」，南亮三郎・館稔編，『マルサスと現代』，勁草書房，pp.158-200.</p> <p>7.1.3 雑誌収載論文等：執筆者名，共同執筆者名，出版年，「論文名」，『雑誌名』，巻号，ページ。</p> <p>（例） 中川友長，1940a，「将来人口の計算」，『人口問題研究』第1巻第2号，pp. 13-15.</p>
7.2	追加		<p>7.2 英語論文等に掲載の和文文献</p> <p>7.2.1 単行本：著者名，出版年，英語の書名（イタリック），（シリーズ名），出版社，[In Japanese].</p> <p>（例） Ministry of Health, Labour and Welfare, 2017, Special Report on the Vital Statistics in 2017: The Summary of Statistics about Marriage, Ministry of Health, Labour and Welfare. [In Japanese]</p> <p>7.2.2 単行本収載論文：執筆者名，出版年，"英語の論文名"，編集者名，英語の書名（イタリック），出版社，ページ，[In Japanese]. 英語の論文名が存在しない場合はローマ字表記とする。</p> <p>（例） Ohta, Kiyoshi, 2010, "Income inequality: Among individuals, scale of company, and industry", Higuchi, Yoshio and Economic and Social Research Institute, eds., Labour Market and Income Inequality, Keio University Press, pp.319-368. [In Japanese]</p> <p>7.2.3 雑誌収載論文等：執筆者名，出版年，「英語の論文名」，英語の雑誌名（イタリック），巻号，ページ，[In Japanese] 英語の論文名や雑誌名が存在しない場合はローマ字表記とする。</p> <p>（例） Higuchi, Yoshio and Sato, Kazuma, 2015, "Commonalities in employment, wage and inequality data of developed countries : Is Japan unique?", Mita business review, 58-1, pp.15-36. [In Japanese]</p>

変更箇所	変更内容	旧	新
7.3	修正	<p>7.2 欧文文献</p> <p>著者名は、原則としてアルファベット順とする。邦訳のある場合は、( )内に記載する。</p> <p>7.2.1 単行本：著者名、<u>(and 共著者名)</u>、出版年、書名<u>(イタリッタまたはアンダーライン)</u>、出版地、出版社。</p> <p>(例) Samuelson, Paul A., 1964, Economics : An Introductory Analysis, 6th ed., New York, McGraw-Hill. (都留重人訳『経済学—入門的分析—』岩波書店, 1966年)</p> <p>7.2.2 論文等</p> <p>(1) 単行本収載論文：執筆者名<u>(and 共同執筆者名)</u>、出版年、“論文名”, 編者ed., 書名<u>(イタリッタまたはアンダーライン)</u>、出版社、ページ。</p> <p>(例) Chakravarty, Sastra and Echaus, Robert S., 1961, “Choice Elements in International Planning”, Rosenstein-Rodan, Paul N. ed., Capital Formation and Economic Development, London, Allen &amp; Unwin, pp.68-82.</p> <p>(2) 雑誌論文等：執筆者名<u>(and 共同執筆者名)</u>、出版社、“論文名”, 雑誌名<u>(イタリッタまたはアンダーライン)</u>、巻-号、刊行月、ページ。</p> <p>(例) Lokanathan, Paul S., 1968, “Regional Co-Operation and Development”, Indian Economic Journal, 15-13, January/March, pp.396-398.</p>	<p>7.3 欧文文献</p> <p>著者名は、アルファベット順とする。邦訳のある場合は、( )内に記載する。</p> <p>7.3.1 単行本：著者名、出版年、書名<u>(イタリック)</u>、出版地、出版社。</p> <p>(例) Samuelson, Paul A., 1964, Economics : An Introductory Analysis, 6th ed., New York, McGraw-Hill. (都留重人訳『経済学—入門的分析—』岩波書店, 1966年)</p> <p>7.3.2 単行本収載論文：執筆者名、出版年、“論文名”, 編者ed., 書名<u>(イタリック)</u>、出版社、ページ。</p> <p>(例) Chakravarty, Sastra and Echaus, Robert S., 1961, “Choice Elements in International Planning”, Rosenstein-Rodan, Paul N. ed., Capital Formation and Economic Development, London, Allen &amp; Unwin, pp.68-82.</p> <p>7.3.3 雑誌論文等：執筆者名、出版社、“論文名”, 雑誌名<u>(イタリック)</u>、巻-号、ページ。</p> <p>(例) Lokanathan, Paul S., 1968, “Regional Co-Operation and Development”, Indian Economic Journal, 15-13, pp.396-398.</p>

原稿明細書（新旧対照表）

変更箇所	変更内容	旧	新
(2)	修正	原稿の種類（論文，研究ノート）	原稿の種類（論文，研究ノート， <u>特集論文，解説</u> ）
(3)	修正	会員種別（正会員，学生会員，その他，非会員） ※ <u>編集規程IV</u> を参照のこと	会員種別（正会員，学生会員，その他，非会員） ※ <u>編集規定IV</u> を参照のこと
(4)	修正	日本語〔漢字（またはカナ）〕による執筆者氏名 英語（ローマ字）による執筆者氏名 （審査を無記名で行うため，本文，図表などの原稿中には氏名・所属を記入しないこと。また著者が特定できるような表現も避け，必要な場合は〔匿名〕などで置き換えること。）	日本語〔漢字（またはカナ）〕による執筆者氏名・ <u>所属</u> 英語（ローマ字）による執筆者氏名・ <u>所属</u> （※ <u>論文・研究ノート・解説については</u> ，審査を無記名で行うため，本文，図表などの原稿中には氏名・所属を記入しないこと。また著者が特定できるような表現も避け，必要な場合は〔匿名〕などで置き換えること。）
(5)	修正	日本文題名 英文題名	和文題名 英文題名
(8)	修正	原稿中の摘要・要旨の有無 和文：和文摘要・英文要旨の有無 英文：英文摘要・和文要旨の有無	和文要旨および日本語キーワードの有無（あり，なし）， 英文要旨および英語キーワードの有無（あり，なし）
(9)	修正・統合	(9) 和文摘要（400～800字） (10) キーワード（5語以内）の原稿末尾の記載の語数 (11) 原稿の量： ① 文章総字数〔英文の場合，語数〕 ② 図数，表数，図表の換算字数（語数）（すべての図表を合計した刷上りの大きさを想定して誌面1ページあたり和文2000字，英文720語として換算すること） ③ 原稿総字数，刷上予定ページ数（原稿総字数・語数を和文2000字，英文720語で割る。あるいは，和文46字×46行または英文8語×30行で表示してページ数を計算する）	(9) 原稿の量： ① 文章総字数〔英文の場合，語数〕 ② 図数，表数，図表の換算字数（語数） ③ 原稿刷上予定ページ数
(10)	修正	(12) 英文のネイティブチェック（ <u>済ませたか，否か</u> ）	(10) 英文のネイティブチェック（ <u>チェック済み，チェックしていない</u> ）
	削除	(13) 投稿原稿のファイルの簡単な説明：（本文，図，表などの内容および，Word，Text，PDFなどファイルの種類の明示。原稿は審査過程ではPDF，掲載決定後印刷用はWordなどの編集が可能な形式が望ましい。） (14) その他（印刷上の希望など） (15) 連絡先（初稿送付先）：住所，E-mailアドレス，電話番号（宅配用）	-
※	追加		※この原稿明細書の様式を <a href="http://www.paoj.org">http://www.paoj.org</a> よりダウンロードのうえ記入・送付してください。

変更箇所	変更内容	旧	新
※	削除	<p>※ 編集規程Ⅳ</p> <p>本誌に掲載する論文等の原稿執筆者は本学会会員に限るものとするが、編集委員会は、必要に応じ、非会員にも原稿執筆を依頼することができる。また、非会員との共同執筆を認めるが、この場合、本学会会員が筆頭執筆者でなければならない。</p> <p>※ 編集規定Ⅻ</p> <p>日本人口学会は、『人口学研究』に掲載された著作物を電子化し、インターネット上で公開することができる。</p>	